

窓口までお問い合わせください。

申込方法／水谷公民館の窓口または電話でお申し込みください。

秋本番、大好きな里芋の季節になつた。衣かつぎや煮ものなど、あのねつとりした食感。は里芋ならでは。縄文時代には貴重な主食の一つだつたと言う。

「里芋ってね、親芋から子芋ができて、子芋から孫芋ができるんだよ」と子ども食堂で話した時のこと、すぐさま「里芋って家族なんだね!」と大きな声がかつた。思いがけない反応に驚いた記憶がある。とは言え、里芋は子どもたちには馴染みがうすい食材かもしれない。「里芋って家族なんだね!」と反応した子どもたち、里芋好きな大人になつてくれるだろうか(笑)。

※衣かつぎ(きぬかつぎ)：里芋の子芋を皮のまま茹でるか蒸して、皮に切れ込みを入れツルリと剥いた日本の伝統料理。塩や醤油で食べる。

柴田 妙子

A photograph of three small, round, golden-brown tarts arranged on a light blue ceramic plate. The tarts have a thick, slightly puffed crust and a smooth, light-colored filling. To the right of the tarts, a small white ceramic bowl contains a pool of melted butter, with a small white spoon resting inside. The entire plate is set on a light-colored wooden surface. The background is a plain, light-colored wall.

※写真はイメージです



NPO 法人がーべら

理事長 管野 雄文

「NPO法人がーべら」は毎週火曜・木曜にみずほ台中央公園交流施設にて無料の学習支援活動を行っています。講師は塾講師、家庭教師などの経験者や淑徳大学で学ぶ教員志望の学生さんなど教員免許をもつボランティアの方など様々な方にご協力いただいています。

また、東みずほ台祭りへの出店や、ハロウィン、クリスマスなど季節行事の際は講師生徒皆で軽食とゲームで楽しむこともあります。

最近では、スポーツ支援活動にも力を入れており、障がい者サッカークー



學習風景



イベントの様子

ムへのボランティアコーチの派遣や、練習の送迎サービスも始めています。

このような活動を通じて、家庭の経済状況にかかわらず、子どもたちが将来を見据え、わくわくできるような環境を作っていきたいと思います。机に向かい勉強することはとても大切なことですが、がーべらでは、学力を伸ばす勉強はもちろんのこと、各種イベントを通し、子どもたちに多くの事を学んでいただきたいと考えています。